

横国 Day2019

『豊かな教育を考える会』シンポジウム

- 1 日時 2019年10月5日(土)
10:00~12:00
- 2 会場 横浜国立大学
常盤台キャンパス
- 3 シンポジウム
これからの教師を語る
- 4 シンポジスト
 - ◇ 杉山 久仁子(コーディネーター)
横浜国立大学教育学部学部長
 - ◇ 吉田 泰成
教育学部生
 - ◇ 瀧澤 沙恵
川崎市立末長小学校教諭
 - ◇ 藤馬 享
元・横浜市立大曾根小学校校長

5 内容

教育学部で教師を志望する学生の皆さんに、友松会が行う就職支援プログラムの一つです。今、公教育は大きな変化の時。「大学はどんな教師を育てようとしているのか」「教師にはどんな喜びや苦労があるのか」「今どんな教師になりたいのか」「教師に求められる資質と情熱とは、どういうことか」等々、本学教授、学生代表、先輩教員が参加し、会場からの意見も含め、有意義で活発な意見交換・交流の場。

次第

開会のことば(落合 英雄研修副部長)

友松会会長あいさつ(高橋 和男氏)

令和の時代になり、「豊かな教育を考える会」もどう変えていくか、今、真剣に研修部で検討しています。平成27年・28年はパネルディスカッションを行い、それを受けてシンポジウム形式ということで始めたところです。今日、すごく心配したのは、会場に参集した皆さんが少ないと困るな、若い人が一人もいないと困るなと思いました。今日は、若い会員の吉田さんや、瀧澤さんが参加してくださったことに改善の一步があります。



教育学部学部長あいさつ(杉山 久仁子氏)

夏の教員採用2次試験では、模擬授業と面接があり、友松会では、その対策講座として数年前からご協力いただいています。採用試験を受ける学生が半分位しかないという実情はありますが、友松会のお力で高い合格率を後押ししていただいています。

吉田:教育人間科学部学校教育課程特別支援教育コース4年。教員採用試験(小学校)を受けました。特技は「けん玉」です。

瀧澤:卒業して3年目。川崎市立末長小学校2年の担任をしています。大学時代は心理科で教員採用試験の時、友松会には大変お世話になりました。「先生は楽しい?」と聞かれ、「はい、楽しいです」と直ぐに答えられず、悩みながら、働いているところです。

藤馬:清水ヶ丘の時に入学し、2年生の夏に常盤台にきました。今は豊かな緑に囲まれ、今日のテーマである「豊かな教育を考える」にふさわしいキャンパスになっています。私は、横浜市立の小学校の教員を25年、その後教育委員会、校長職を退いて4年目です。若い人たちが考えていること、悩んでいることを聞きながら、自分が学校現場で感じたことをお話できればいいかなと思っています。